



苦小牧市体育協会スポーツ

功労賞に2名の表彰者

平成30年度「公益財団法人」苦小牧市体育協会スポーツ賞について当会から高山芳治、鈴木 統の両名をスポーツ功労賞部門に推薦していた。このスポーツ功労賞は、加盟後5年以上の団体に於いて20年以上の経験（役員等）を有し、且つ60歳以上の者を推薦することとなっている。高山さんは役員歴43年、鈴木統さんは役員歴32年で申請（推薦）していて、このほど受賞が決定した。各団体で各競技で優秀な成績を上げた選手と一緒に表彰される。表彰の式典は6月21日に行われる。この賞は、以前、藤田名誉会長も受賞している。



《事業報告》年度最初の山行「白樺山」



30年度最初の山行、15日が悪天のため、順延して4月21日（日）に再度参加者を募り、スキー組3名とスノーシュー組2名計5名で行われた。出発の旧新見温泉ゲート前から気温が高く、暖かいというより

暑いという感じ。腕まくりして登るほどだった。稜線に出たからは強い南風が吹き、山頂付近では飛ばされそうな風となった。頂上付近は雪が切れ、手前でスキー、スノーシュー共にデポして夏道を登った。下山はスノーシュー組のスピードを考慮しながらスキー組もゆっくり滑走してほぼ一緒にゴールする。



CL 新井素、SL 新井孝、小林松、泉田、林昇。詳細は例会で報告済み。

春山合宿「奥徳富岳・群別岳」



4月28日から30日の予定で増毛山塊にある群別岳と奥徳富岳の2山の縦走計画で春山合宿が行われた。参加者は4名。事前調査時より500m程林道奥まで車が入る。連休前半でまだ林道に駐車車が少ない。各自分担当した20K程の荷を背負いスタート。初めは所々林道の雪は切れるが途中からは残雪となる。BC出使用する炊事用の水を途中の沢で一人3Lずつ汲む。沢の急登を上がり、約1時間程でBCにつく。明日登る2座が見えるすばらしいロケーションのキャンプ場だ。夕食はカレーだ

が、林会長差し入れのシカ肉のステーキ。おいしくいただき、お酒も入って9時に就寝。満月少し前の月明かりがテントに注いでテント内が明るかった。



翌日、BCを4時に立ち、まず、群別岳に向かう雪に埋まった沢を詰めていく。上部の滝の左岸を回り込み高度を稼ぎ最初のコルに上がると正面に群別手前の岩壁が迫る。この岩壁の右下部を巻くと今日一番の60度傾斜の



いする。東には暑寒別岳と南暑寒別岳のどつしりとした山容がたがり、北西から西には浜益岳・雄冬山と日本海が広がる贅沢な景色を堪能して次の奥徳富岳へ向かう。急斜面で細いリッジを下り奥徳富の最低コルに向かう。奥徳富岳への稜線は、何段かのデコの登りになっている。左側は切れ落ち雪庇が口を開いているので、慎重に右のハイマツや灌木にルートを取って登る。

奥徳富岳まで群別から約2時間で到着。山頂でゆっくり暑寒別岳などを眺めながらコーヒータイム。奥徳富岳から下山尾根を使い、群別川源流部に戻り、一回りしてテン場に



トラバース。30分を要した。トランプスを終えると頂上手前のコル着。一気に頂上ま

でだがなかなか足が進まない。攀りそうな足の手当を行って頂上に。4名の内2名は初の頂、BCから約5時間で到着。スキーでの単独者に集合写真をお願



戻る。テン場に札幌の山仲間がテントを設営していた。早く下山してきたので、もう一泊せずに下山することに決定。すぐにテント撤収して、前日登ってきた林道を約2時間半歩いて車に到着。浜益温泉で2日間の汗を流して帰路に向かう。〔新井孝、〔泉田、林昇、新井

素 ※合宿報告は例会で報告済み。詳細はHPでも閲覧できます。



「春の山野草を見ながらの喜茂別岳」
5月27日、絶好の登山日和。雪解けが進む中山峠近くにある喜茂別岳、山野草を見ながらの指向だったが、登山道沿いの雪は溶けたばかり、そのため多くの花々と出会うことは出来なかった。沢沿いでエゾノリュウキンカ（ヤチブキ）、見晴台でシラネアオイが咲いていた。頂上手前では、ミネザクラが2〜3輪咲き出したぐらいで残念だった。林道は調査時より雪解けが進み、登山口まで車

が入ったため予定より1時間半ほど時間短縮になった。途中、林道が雪で見えなくなったところは、地図を読み磁石をセットして雪田をショートカットして進んだ。登山口から2時間12分で山頂到着。360度の展望を楽しむ。特に羊蹄山の残雪は美しかった。下山は1時間半程度だった。★詳細は6月の例会で報告。

《例会予定》 開始時間18:30

- ◆ 6月3日(日) 6/24 余市岳(山野草) 打ち合わせ
- 7/8 冷水山(低山) 打ち合わせ(予定)
- ◆ 7月1日(日) 7/8 冷水山(低山) 打ち合わせ
- 7/8 冷水山(低山) 打ち合わせ
- 7/22 沢研修 打ち合わせ
- 8/4〜5 「山の日」 打ち合わせ

《事業予定》

- ◆ 6月24日(日) 余市岳(山野草と二等三角点) 担当:鈴木健、林昇
- ◆ 7月8日(日) 冷水山(※低山) 担当:大岡、田中勝
- ◆ 7月22日 沢研修 担当:松原、泉田

- ◆ 8月4〜5日 「山の日」 大雪山一泊
- ① 層雲峡(泊) 銀泉台〜赤岳〜黒岳(尾根)
- ② 層雲峡(泊) 白水沢〜黒岳(沢)

《連絡事項》
・苫小牧山岳会HPが名前検索で見られます。道路情報・三角点名地図情報もリンク。